

## 新エネルギービジョンの目指す姿(将来像)

市民誰もが身近で豊かな自然を利用し、自然エネルギーの利用による暮らしの豊かさを実感できる自然エネルギー利用日本一の都市

### 平成32年(2020年)度までの目標値

- 新エネルギーによる電力の創出  
90,000MWh/年  
(市民一人当たり1MWh/年)
- 化石燃料から新エネルギーへの転換  
9,000kl(原油換算)/年  
(市民一人当たり100l(原油換算)/年)

## 新エネルギーのメリット

### 無限に利用可能

新エネルギーは自然の中に無限に存在するエネルギーです。使っても減ることはありません。

### 豊富な資源

太陽や水、木(バイオマス)などの新エネルギー資源は、市内のいたるところにあり、地域資源の有効利用にもつながります。



木質ペレット

### 地球に優しい

新エネルギーは二酸化炭素などの排出量が極めて少なく、地球温暖化の防止につながります。

### 地域の活性化を創出

新エネルギーの導入が進むことで地域内での資源の循環につながるなど、地域の活性化が期待できます。

新エネルギービジョンは、市役所1階市民コーナー、2階環境政策推進課、各支所地域振興課のほか、市ホームページでも公開しています。

## 目指す姿の実現に向けて

### 新エネルギーの導入や省エネルギーの推進

公共施設や住宅、事業所など、市全域での新エネルギー等の積極的な導入による自給率の向上と、省エネルギーの取り組みによるエネルギーの効率的な利用を図ります。

### 地域産業の発展

地域産業における新エネルギーの導入や新エネルギーを活用した事業展開を促進し、新エネルギーを活かした地域経済の活性化をすすめます。

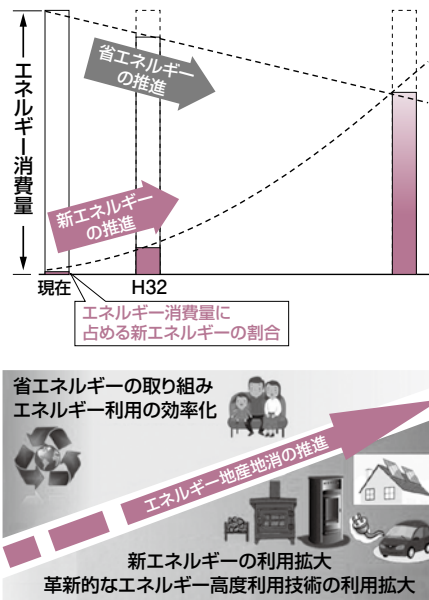
### 特色ある地域づくりの推進

地域が協力してエネルギーを創出し、地域活性化や誘客などに活用する、新エネルギーを活かした自立型のまちづくりをすすめます。

### 安全安心なまちづくりの構築

地域におけるエネルギー供給の自立化や分散化を促進することで、新エネルギーを活かした安全安心なまちづくりをすすめます。

### 新エネルギーの拡大イメージ図



### 問合先

環境政策推進課 ☎35-35333

## 早めの避難が身を守る

### 荘川地域で土砂災害防災訓練を実施



雨が多くなるこの時期は、土砂災害の発生が心配されます。市では平成20年度から、土砂災害警戒区域に指定された地域を対象に、土砂災害を想定した防災訓練を実施してきました。

今年度の土砂災害・全国統一防災訓練は荘川地域で実施します。

日時 6月1日(日) 午前8時～正午

場所 荘川体育館、黒谷公民館(荘川町黒谷地区)

主な訓練内容 避難所までの避難訓練、避難行動要支援者の避難誘導、ハザードマップを活用した災害図上訓練、炊き出し訓練、応急手当訓練、水防訓練ほか

当日は荘川地域限定の放送等を行いますので、ご承知おまください。

- ◎防災行政無線による避難の呼びかけ
- ◎高山防災ラジオ(ヒツツFM)の自動起動放送
- ◎メール配信サービスによる「安全安心」情報の発信

### 問合先

危機管理室 ☎35-33345  
荘川支所 ☎05769-2-2211